

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハートリハビリ児童デイサービス常陸大宮		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 3日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型の事業所の為、継続して支援をしていける	幼児期から学齢期へと進んでも、慣れたスタッフや活動を継続することで、環境の変化による不安を軽減できるようにしています。 児童発達支援から取り組んできた活動が成長とともに発展し、成功体験を積み重ねられるよう工夫しています。	児童発達支援と放課後等デイでは支援のアプローチが異なる為、一人一人に合わせた支援をしていけるように努めます。
2	廃校となった学校を使用している為、広いグラウンドがあり思いきり体を動かすことができる	定期的に運動する活動を取り入れ、グラウンドで体を動かす時間を設けています。サッカーや鬼ごっこ、自転車等遊びを自己選択する機会も設けています。	楽しく体を動かせるような遊びを提案していきます。 遊びを通して、お子さん同士が関わりを持てるようサポートしていきます。
3	事業所内の情報共有・関係機関との連携体制があること	関係機関と支援状況や課題について情報を交換し連携をとることで個々の発達状況を捉えたり、集団での様子を相互に伝え合っています。 情報はスタッフ間でも共有し、支援の統一を図っています。	引き続き、関係機関との定期的な連携を図り、お子さんの支援状況や課題について情報を交換します。 引き続き、職員間で連携をとりながら情報共有し、チームでの支援に取り組みます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のお子さんとの交流機会が不足している	放課後児童クラブや学童との交流や、地域の他のお子さんとの活動する機会を活動として提供できていません。	市内外の学校からお子さんが当事業所に通所し活動に参加することが交流の機会となっている一面もあります。保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
2	保護者同士の交流の機会が不足している	祝日はお子さんが楽しめる活動を企画していた為、保護者同士の交流の機会を設けることができませんでした。	親子で参加できるイベントを企画したり、懇親会を開催する等気軽に参加できる方法を検討します。保護者の皆様のニーズに応じた開催方法を検討していきます。
3			